



新緑の神宮外苑銀杏並木(東京都港区)

美しい自然あふれる「東京の都心」 — 夢だった国立競技場と神宮外苑銀杏並木

中西 哲生
なかにし てつ お
スポーツジャーナリスト



1969年愛知県生まれ。同志社大学経済学部卒業後、1992年にJリーグの名古屋グランパスエイトに入団し、中盤の選手として活躍。1997年に川崎フロンターレに移籍、当時J2であったチームの主将として精神的な中核をなし、見事にJ1へ昇格させた実績をもつ。引退後は、放送メディアを中心にスポーツコメンテーターとして活動。2008年には日本サッカー協会特任理事に就任。オフィシャルサイト <http://www.tetsuo-n.com/>

東京はビルが林立し、住宅が密集している「東京砂漠」と呼ばれてもいるそうですが、皇居や赤坂御所、神宮の外苑や内苑、新宿御苑や代々木公園など、東京の都心は世界に誇ってもいい自然あふれる場所だと思います。とくに神宮外苑一帯はアスリートたちにとっては大変重要な場所です、なかでも国立競技場は別格の存在で、僕もそこでプレーすることが夢でした。名古屋グランパスエイト時代、それが叶っただけでなく、天皇杯で優勝することもできました。しかも元日だったので、とても印象深く、一生の思い出になっています。

仕事に忙しい毎日ですが、僕にとってあの周辺は日常の暮らしに溶け込んだ空間です。秩父宮ラグビー場へはラグビー観戦、神宮球場にはプロやアマの野球観戦、それにゴルフが好きですから、すぐ近くのゴルフ練習場へもよく出かけます。仕事の合間にちょっと時間ができると軽いランニングや食事もします。特に、珍しいかつおだしの長崎ちゃんぽんが美味しい水明亭は常連

で、みなさんにもおすすめですよ。

最も好きな風景といえば、僕はシンメトリーが好きなので、神宮外苑の銀杏並木です。あのように計画的に整えられた都市の風景は他では味わえないのではないのでしょうか。銀杏の木は、みずみずしい新緑の頃も、黄金色に照り輝く秋もすばらしく、青山通りに近いところは樹高28mですが、絵画館に近づくにつれて高さをおさえ、道路にも少し傾斜をつけ、風景に遠近感が高まるよう工夫して設計されているそうです。

私たちがなんの気なしに楽しんでいる美しい都市の風景にも、様々な人の感性と技術、そして努力が隠されているのだなとつくづく感じました。

それにしても東京の街の風景は日に日に変貌していますね。都市が元気なのはとてもいいことなのですが、先人の知恵と工夫によって生みだされた美しい表情が、無神経に壊されていくことがないように、市民一人一人が力を出し合わないといけないと思います。

(談)



水明亭(東京都新宿区)
絵: 平野 敬則